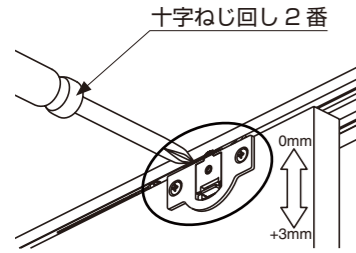
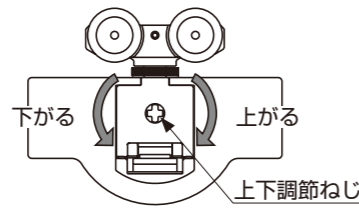


8. 扉の上下調整

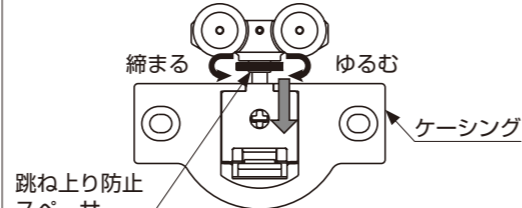


(1)上ローラーの上下調整ねじを調整方向に回してください。



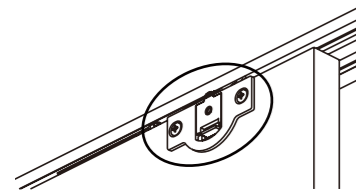
上ローラーは出荷時は上下調整範囲の一番上の位置です。

(2)調整後、跳ね上がり防止スペーサーを指で回してケーシングの上面まで下げて締めてください。



再び上下調整する際は、一旦、跳ね上がり防止スペーサーをローラーの下面まで上げてから行ってください。

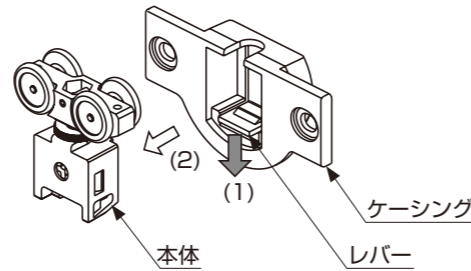
● 扉を取り外す場合



(1)上ローラーのレバーを押し下げてください。

(2)ケーシングから本体を引き抜いてください。

扉の転倒にご注意ください。



■困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉が途中で止まってしまふ	扉下面が底板にこすっていませんか？	上レールを取り付けているねじにゆるみがないか確認します。ねじがゆるんで上レールが下がっていたら、ねじを増し締めしてください。扉の上下調整を行い、適切な隙間に設定してください。
扉の開閉時に異音が発生する。	扉が隣接する箇所（キャビネット、引き違い扉など）とこすっていませんか？	扉がこすらないように修正します。下ガイドの調整ガイドの位置を再度調整してください。
	上レール内にゴミやアルミの切り粉がついていませんか？	上レール内を掃除し、異物を取り除いてください。
扉の開閉が重い。	上レールの取付ねじがゆるんでいませんか？	上ローラーがねじ頭にこすっていますので、ねじを締め直してください。
	扉が隣接する箇所（キャビネット、引き違い扉など）とこすっていませんか？	扉がこすらないように修正してください。
勝手に扉が開閉してしまう。	上レールが反りや変形していませんか？	キャビネット天板の上レール取付溝加工が適切でないと、上レール内が狭まり、上ローラーとこする場合があります。天板の加工溝を修正してください。
	上レールが水平に取り付けてありますか？	水平器を利用してキャビネットを水平に設置し、その後上レールが水平になるように取り付けし直してください。

■定期点検

- ・レール内の掃除を行い、ゴミ・異物などを取り除いてください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整を行ってください。



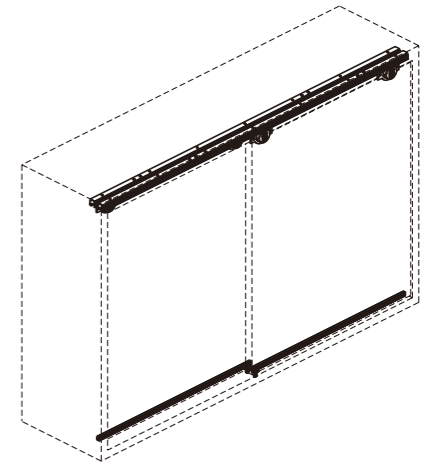
2014.03 0808-1

上吊式家具用引戸 SKDC12 インセット扉仕様 取付説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。作業前に本書をよくお読みの上、正しく取り付けください。

警告 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことがあります。

- 本品の取り付けは、本書に従って知識・経験のある方が正しく行ってください。取付方法を誤ると、本来の性能が発揮できないほか、破損などによる思わぬけがの恐れがあります。
- 本来の目的とは異なる使用方法や分解、改造及び本書に示す仕様以外の扉への使用はおやめください。仕様外の扉に使用したことによる事故、けがなどにつきましては、その責任の一切を負いかねますのでご了承ください。
- 扉の質量、開閉の衝撃に耐える強度の筐体を製作してください。強度の無い筐体は扉の動きを著しく低下させるほか、扉の脱落を引き起こすことあり大変危険です。



引き違い扉インセット仕様

■本製品について

本製品は家具向けの上吊り引戸用部品です。上吊り式のレールとローラーにより、扉は軽い力でなめらかに動きます。

■仕様

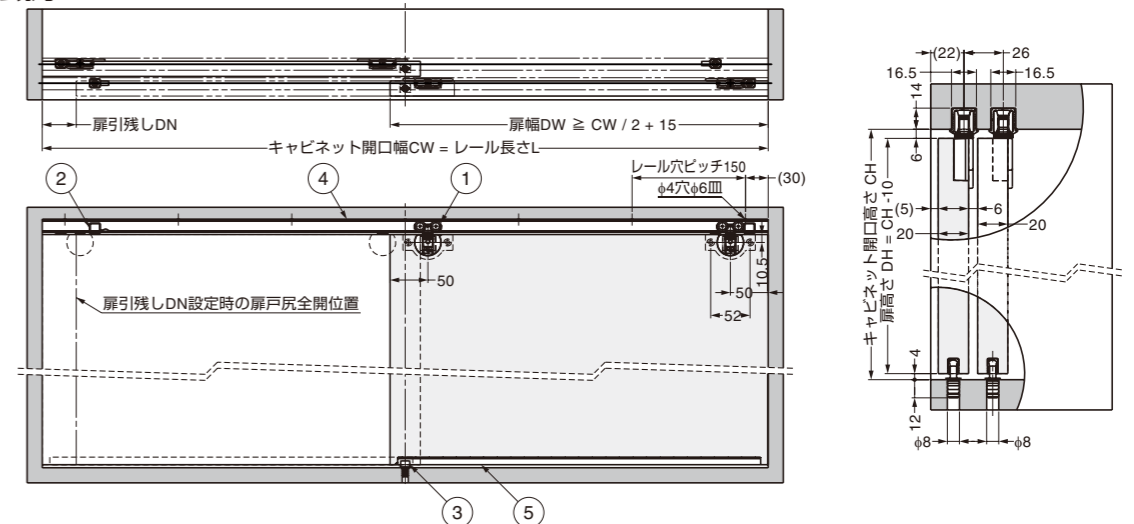
引き違い扉 インセット仕様	扉質量 (1枚当り)	扉厚	扉幅	扉高さ
	12kg 以下	15mm 以上	900mm 以下	1200mm 以下

※アルミフレーム扉の場合は、アルミフレーム枠の部品構造により、取付可能な扉幅が異なります。

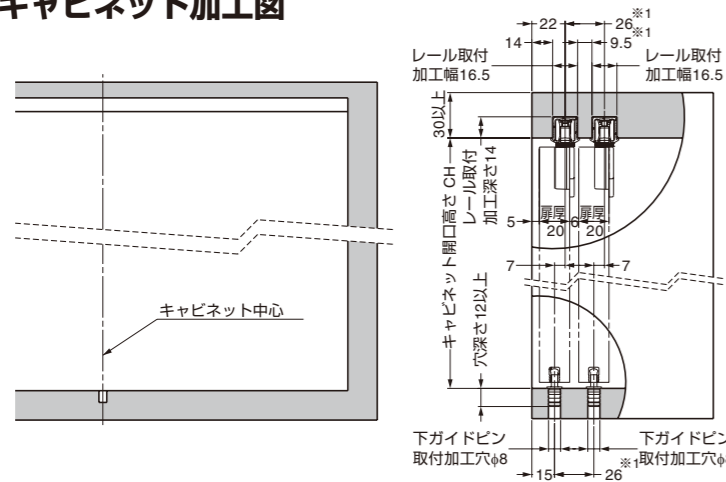
■構成部品

	① 上ローラー	② ストッパー	③ 下ガイドピン	④ 上レール	⑤ ガイドレール
付属ねじ (組立1ヶあたり)	十字穴付低頭 (D8.3) タッピンねじ 4 × 16 2本				十字穴付皿タッピンねじ 3 × 12 取付穴数分
数量	4ヶ	4ヶ	2ヶ	2本	2本

■納まり寸法例

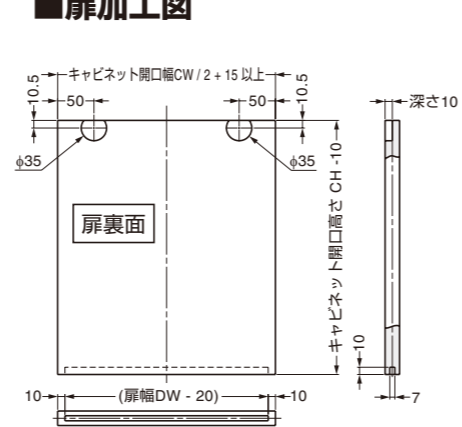


■キャビネット加工図

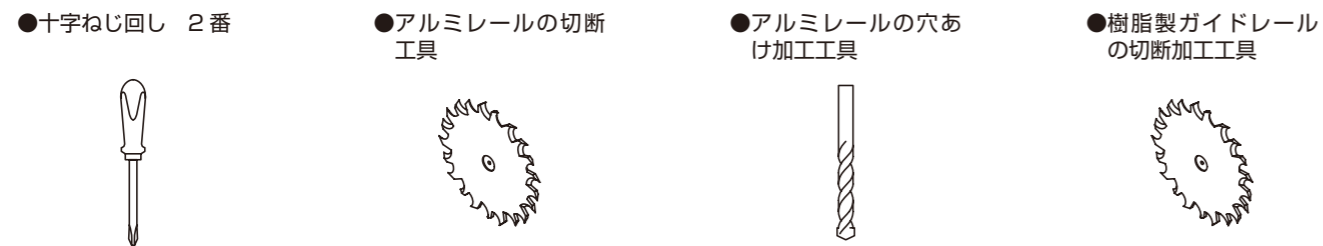


※ 1 図は扉厚 20mm の場合の寸法です。扉厚に応じ、適宜設定してください。

■扉加工図

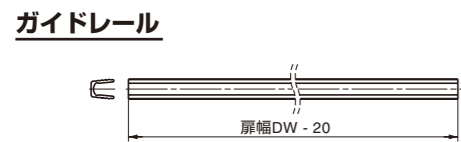
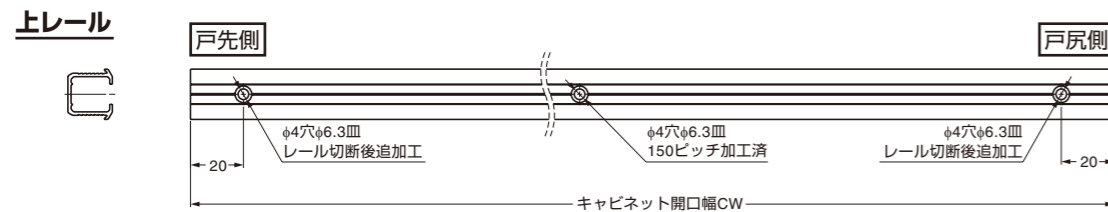


■使用する工具と準備していただくもの



■組立手順

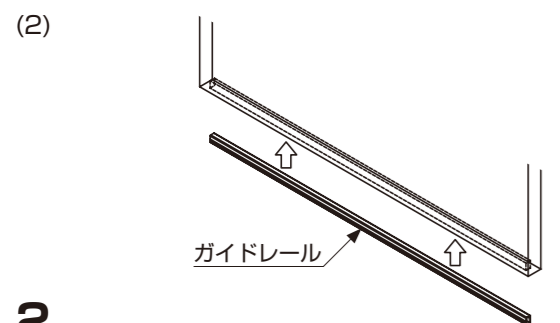
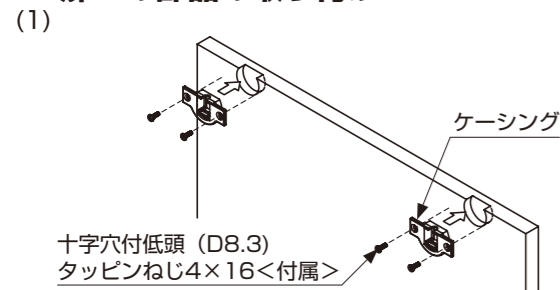
1. 上レール、ガイドレールの切断、穴加工



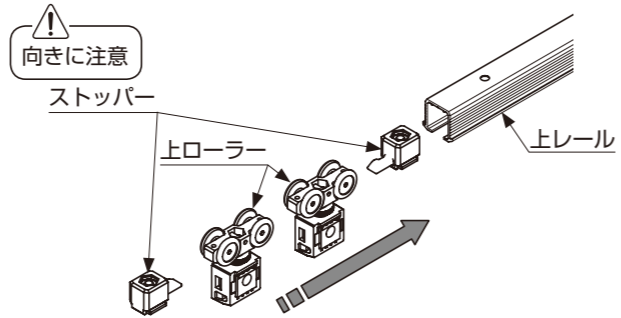
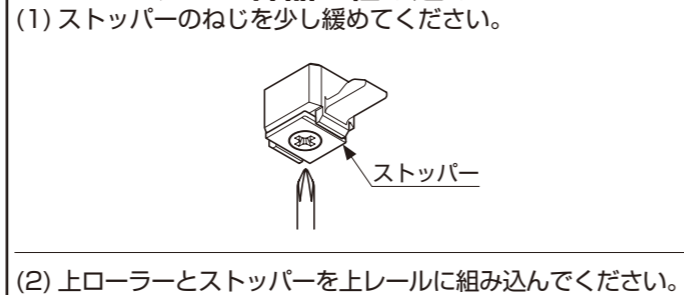
⚠

- ・レールは切断部が変形しないように、補強材などを入れて切断してください。
- ・上レール内は、木材のかすやレールの切り粉などの異物をきれいに取り除いてください。扉操作時にゴロゴロ音が発生する原因になります。

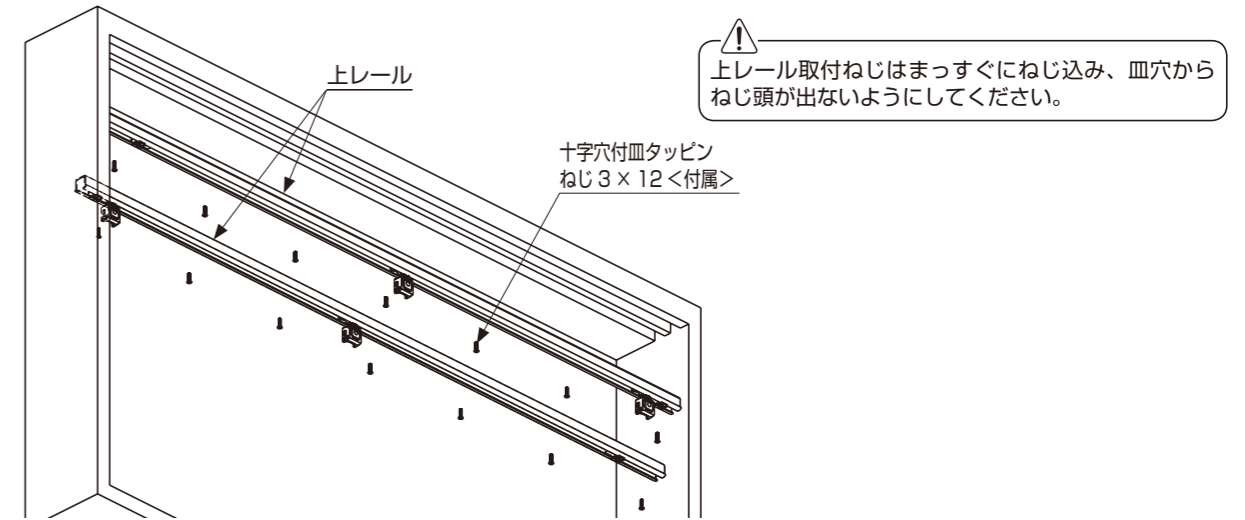
2. 扉への部品の取り付け



3. 上レールへの部品の組み込み



4. 上レールの取り付け



⚠

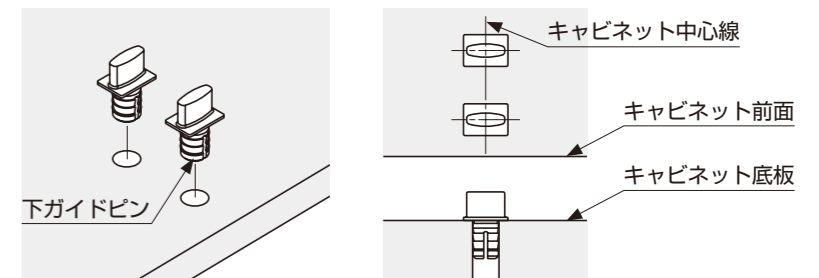
上レール取付ねじはまっすぐにねじ込み、皿穴からねじ頭が出ないようにしてください。

5. 下ガイドピンの取り付け

下ガイドピンをキャビネット底面の穴に挿入してください。

⚠

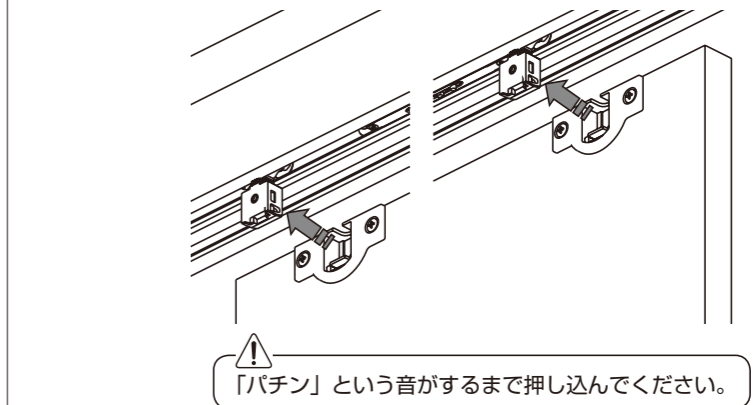
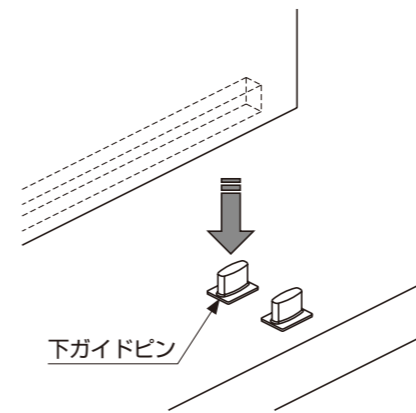
凸部の幅広面を正面に向けてください。



6. 扉の吊り込み

(1) キャビネット奥側の扉から吊り込みます。下ガイドピンの凸部に扉下の溝をはめてください。

(2) 扉裏面に取り付けたケーシングの凹部に上ローラー本体を押し込み、組みつけてください。

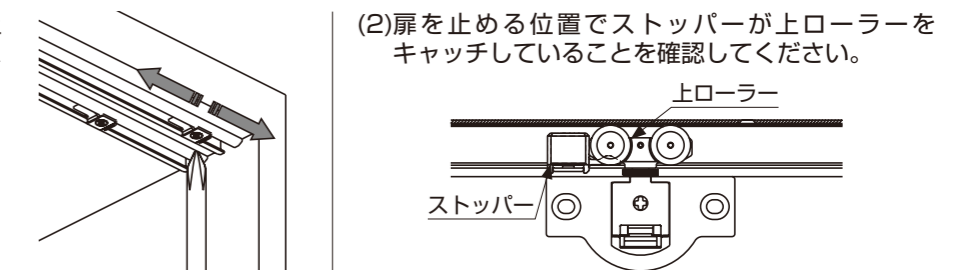


(3) 同様の手順でキャビネット手前側の扉も吊り込んでください。

7. ストッパーの位置調整

扉が全開位置、全閉位置で止まるように、上レール内のストッパーの位置を調整します。

(1) 扉を止める位置（ストッパーが上ローラーをキャッチする位置）でストッパーのねじを締めてください。



(2) 扉を止める位置でストッパーが上ローラーをキャッチしていることを確認してください。